

幼少期からのアトピー・喘息と3回の強い症状の波を経た成人アトピーの経過 (31歳 男性)

症例 ID：001-30-SJ | 記録日：2016年11月15日

1. 診断・治療前経過

幼少期からアトピーと喘息があり、皮膚症状の強い時期と軽い時期を繰り返していました。23歳頃に治療を開始しました。

治療開始後から8年間の間に、仕事を長期間休むほどの強い症状の波を3回経験しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期から外用薬や内服薬を使用していました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	幼少期から23歳頃までです。
中止時期	23歳頃の治療開始時です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
23歳頃	治療開始	治療開始数日後から、痛み、かゆみ、倦怠感を伴う強い症状が出ました。
その後	1回目の波	額と首を中心に厚くなっていた皮膚が徐々に変化しました。
2014年5月頃	2回目の波	全身の悪化、浸出液、不眠、食欲不振、脱毛などが重なり、約6か月自宅療養しました。
2015年	安定期	皮膚状態が大きく整い、喘息もほとんど出なくなりました。
2016年8月頃	3回目の波	再び症状が強くなり、約3か月休職しました。
2016年11月	記録時点	2回目ほどではないものの症状が残り、休養しながら治療を継続していました。

4. ピーク時期

ピークは、2014年5月頃から約6か月間、全身の浸出液、強い痛みとかゆみ、不眠、食欲不振、脱毛が重なり、就労できなかった時期です。

5. 困りごと

- 2回目と3回目の強い症状の波で、合計9か月ほど仕事を休みました。
- 浸出液、乾燥、強い痛みとかゆみ、不眠が続きました。
- 長期療養には家族の支援が必要でした。

6. 経過のまとめ

2回目の症状の波を越えた後は皮膚状態が大きく整い、喘息もほとんどみられなくなりました。

2016年には3回目の波を経験し、記録時点では休養しながら治療を継続していました。

通院と治療を通じて、日常生活での負担が軽減された症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。